

のすすめ

ですか。
な農林水産物をその地域で消費する
中、この言葉が取り上げられること

の消費拡大運動を目的としているだ
きることによって、次のようなさま
詰まっているのです。

心して食材を買うことができる
など、生産者との交流ができる
について関心が持てる

や不揃い品なども販売できる
き、生産意欲が高まる
向上につながる

農産物を知ることが
できるイベントも
開催されるよ



<西濃地域地産地消のつどい>

- *とき / 2月28日(土) 午前10時～午後3時
- *ところ / JAにしみのふれあいホール(東前町)
- *内容 / 農産物・加工品の販売、生産者との交流、餅つきなどの体験、里丸汁無料配布
- *問合せ / 同実行委員会事務局(コープぎふ西濃支所内、☎89-9011)へ

<公設地方卸売市場開放>

- *とき / 3月21日(土・祝) 午前8時～正午
- *ところ / 公設地方卸売市場
- *内容 / 農産物・水産物の販売など
- *問合せ / 同市場(☎89-5131)へ



過去の様子

旬を迎えたイチゴに
ついて、生産者に
話を聞いてみたわ



新たに農業を始め、
イチゴを作っている
三摩真一さん

もともと他の仕事をしていましたが、自分で何か
できないかと思い、農業を始めました。

農業は、自然災害や病害虫の影響も受けます
が、自分でやった分だけ、結果が返ってくるので、
やりがいのある仕事だと思います。

現在、約10アールのビニールハウスで、「美濃
娘」という品種のイチゴを作っています。この品
種は、主に岐阜県で栽培されていて、12月中旬～
翌年5月中旬が収穫期です。ちょうど今が旬で、
お店にも出回っているの、その味をぜひ皆さん
にも知っていただきたいと思って、日々イチゴづ
くりには励んでいます。

日本を代表する農産物「米」 “ハツシモ” “コシヒカリ”



「美濃を制する者は天下を制す」とまで言われた穀倉地帯である美濃地方。現在でも、米は大垣市の主要農産物です。

大垣地域と墨俣地域では「ハツシモ」、上石津地域では「コシヒカリ」を中心に作られています。中でも「ハツシモ」は、主に岐阜県でしか作られていない品種で、粒が大きく、冷めても味が落ちにくいのが特徴です。

生産量日本一!

カミツレ (カモミール)

ヨーロッパやアラビアを中心
に、消炎作用があるとして、古くから利用されてきま
した。

大垣市では多芸島地区を中心
に作られていて、ゴールデンウィークには白い花を咲か
せ、辺りに甘い香りを漂わせます。保湿効果や消炎力を生
かして、化粧水や入浴剤などに製品化されています。



県内有数の出荷量 ナシ

南若森地区や曾根地区での生産が盛んで、県
内有数の生産量を誇ります。

ハウス栽培などにより、初夏～初秋と時期を
ずらしながら出荷されます。また、果樹園に隣
接した直売所でも販売が行われてい
て、夏の定番の味覚として親しまれ
ています。



栄養の宝庫 ブロccoli

近年、大垣地域北西部を中心に栽培面積が増
えています。

皆さんが食べているのは、花蕾からいと呼ばれる花
のつぼみが集まった部分です。健康を維持する
上で必要な栄養素が豊富で、ビタミンC、カロテ
ン、ビタミンB群などが多く含まれています。

市は、農業関係団体や生産者と協力しなが
ら、消費者と生産者が交流できる場や、農業に
触れ合える機会を作っています。そして、それ
らを通じて、農業に関心を持ってもらいたい
と考えています。

冷涼な気候を
生かして

茶

上石津地
域で、夏季の冷涼
な気候を生かし
て作られているのが、お茶です。

減農薬栽培に取り組むなど、安全・安心の
お茶づくりを行っています。

一部は、ペットボトル飲料としても販売さ
れています。



豊富できれいな地下水を利用 ワサビ

近年、曾根地区で地下水を利用して作られ
るようになりました。

ワサビは、豊富な水量、安定した水温、きれ
いな水質を必要とするデリケートな作物で
す。大垣地域で栽培できるということは、豊
富な地下水に恵まれているからと言
えます。

収穫されたもの
の一部は、ワサビ
みそやワサビ漬け
などにも加工、販
売されています。



その一環として、この特集を組むことで、地
元の農産物を知ってもらうとともに、地産地消
が進むきっかけになればと思います。

詳しくは、農林課(☎47-8628)へお問い合
わせください。